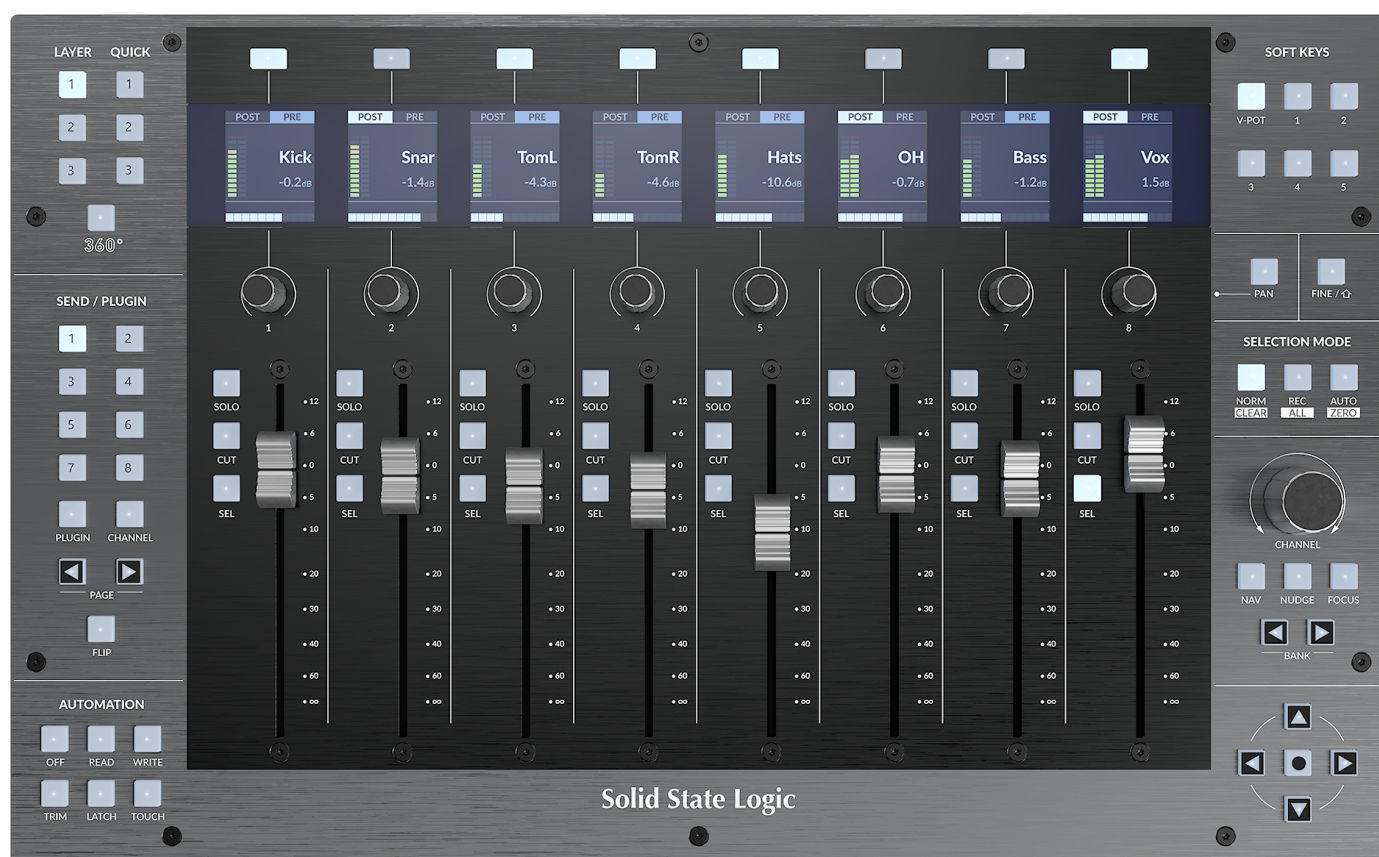


SSL UF8

User Guide - Logic Tutorial

日本語版



Solid State Logic

O X F O R D • E N G L A N D

Visit SSL at:
www.solidstatelogic.com

© Solid State Logic

All rights reserved under International and Pan-American Copyright Conventions.

SSL® and Solid State Logic® are registered trademarks of Solid State Logic.

SSL UF8™ is a trademark of Solid State Logic.

All other product names and trademarks are the property of their respective owners and are hereby acknowledged.

Pro Tools® is a registered trademark of Avid®.

Live™ is a trademark of Ableton® AG.

Logic Pro® and Logic® are registered trademarks of Apple® Inc.

Studio One® is a registered trademark of Presonus® Audio Electronics Inc.

Cubase™ and Nuendo™ are trademarks of Steinberg® Media Technologies GmbH.

LUNA™ is a trademark of Universal Audio® Inc.

Pyramix™ is a trademark of Merging Technologies® SA.

Mackie® is a registered trademark of LOUD Technologies® Inc.

BOSS® is a registered trademark of Roland® Corporation.

No part of this publication may be reproduced in any form or by any means, whether mechanical or electronic, without the written permission of Solid State Logic, Begbroke, OX5 1RU, England.

As research and development is a continual process, Solid State Logic reserves the right to change the features and specifications described herein without notice or obligation.

Solid State Logic cannot be held responsible for any loss or damage arising directly or indirectly from any error or omission in this manual.

PLEASE READ ALL INSTRUCTIONS, PAY SPECIAL HEED TO SAFETY WARNINGS.

E&OE

Revision 3.0 - October 2022

LUNA and Pyramix Tutorials added, Plug-in Mixer Tutorial updated.

Japanese version April 2023

実際の製品構成は写真のものと若干異なる場合があります。
また性能の向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

日本語版 © Solid State Logic Japan K.K. 2023

Visit SSL at: www.solid-state-logic.co.jp

Table of Contents

Logic with UF8 - Tutorial	5
SSL 360° Setup	5
Logic Setup	5
LCD Layout	7
Tutorial	8

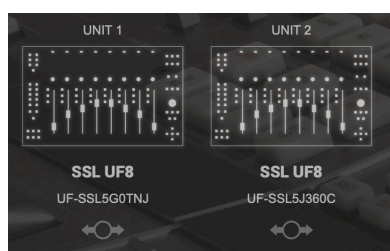
This Page Is Intentionally Almost Blank!

Logic with UF8 - Tutorial (Logic - チュートリアル)

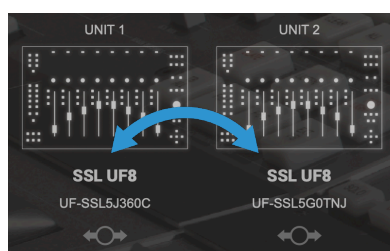
以下のチュートリアルでは、UF8の **LAYER 1** でデフォルトのLogicプロファイルを設定し、使用方法を説明します。Logicを別のレイヤーに設定する場合は、お使いのDAWが正しい**SSL V-MIDI**ポートに設定されていることを確認してください。

SSL 360° Setup (SSL 360° セットアップ)

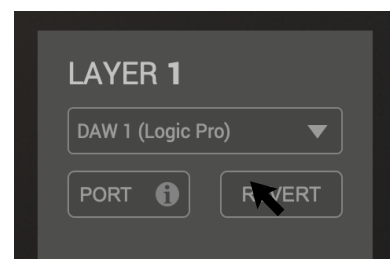
1. SSL 360° アプリケーションをMacまたはWindowsコンピュータで開き、**HOME**のページでコンピュータに接続したUF8が存在することを確認します(それぞれのUF8の輪郭画像が画面に表示されます)。
2. 複数のUF8を接続している場合は、各ユニットの画像をクリックし、UF8が正しい順序で配置されていることを確認します。順番を変更する必要がある場合は、マウスでクリック&ドラッグして並び替えます。
3. **UF8**のページを開き、ドロップダウンリストを使用して**Layer 1**を**Logic**に設定します。



STEP 1 : SSL 360°アプリケーションを起動します。



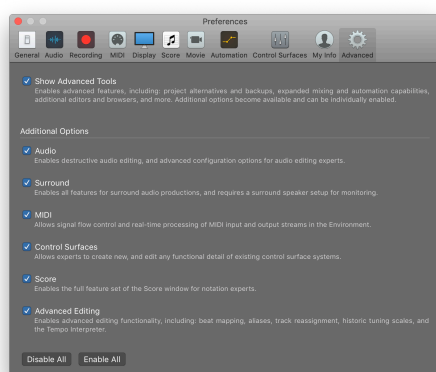
STEP 2 : クリック&ドラッグで並び替えます。



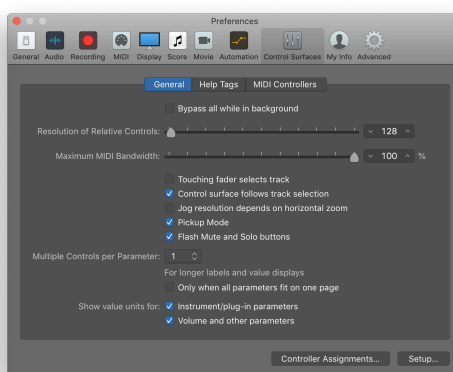
STEP 3 : UF8ページよりDAWプロファイルを選択します。

Logic Setup (Logic の設定)

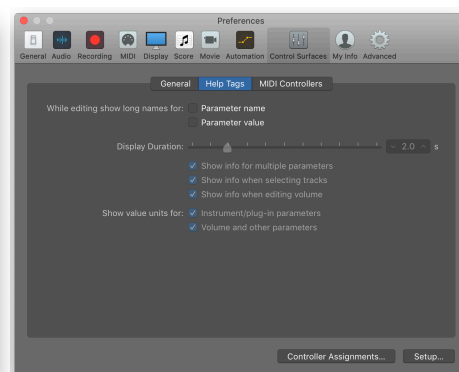
4. Logicを開きます。**Control Surfaces > Preferences...**と進み、**Advanced**タブに移動します。**Additional Options** (追加オプション)の下に**Control Surfaces** (コントロールサーフェス) がチェックされていることを確認します。
5. 同じ**Preferences**メニューの中の**Control Surfaces > General**タブに行き、「Multiple Controls Per Parameter」が「1」に設定され、「Only when all parameters fit one page」のチェックが外されていることを確認します。また、「Maximum MIDI Bandwidth」を100%に増やします。
6. **Help Tags**タブで「Parameter name」と「Parameter value」の両方がチェックされていないことを確認します。



STEP 4 : 「Advanced Tab」の「Additional Options」セクションで「Control Surfaces」にチェックを入れます。



STEP 5 : 'Control Surfaces' > 'General' タブの 'Multiple Controls per Parameter' が '1' に設定されていること、および 'Only when all parameters fit on one page' のチェックが外れていることを確認します。「最大MIDI帯域幅」を100%に設定します。



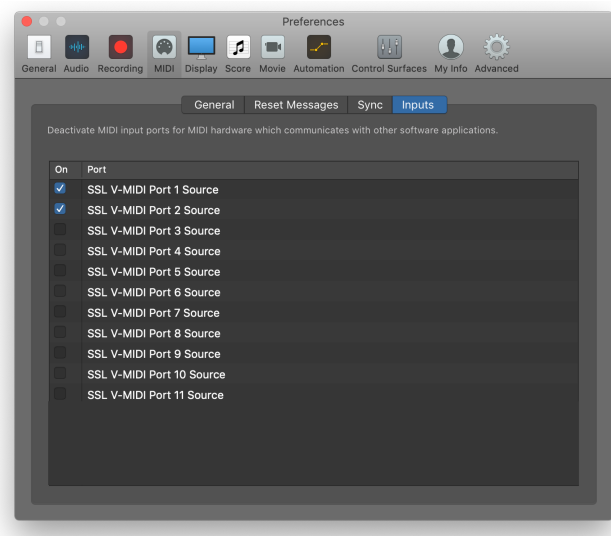
STEP 6 : 'Control Surfaces' > 'Help Tags' タブで 'Parameter name' と 'Parameter value' が両方ともチェックされていないことを確認します。

7. **Preferences > MIDI** に移動し、**Inputs** タブを選択します。このリストで、必要な **SSL V-MIDI Ports** にチェックが入っていることを確認します。例えば、UF8 が 1 台ある場合は、**SSL V-MIDI Port 1 Source** にチェックが入っているだけです。UF8 が 2 つある場合は、**SSL V-MIDI Port 1 Source** と **SSL V-MIDI Port 2 Source** にチェックを入れるなどします。

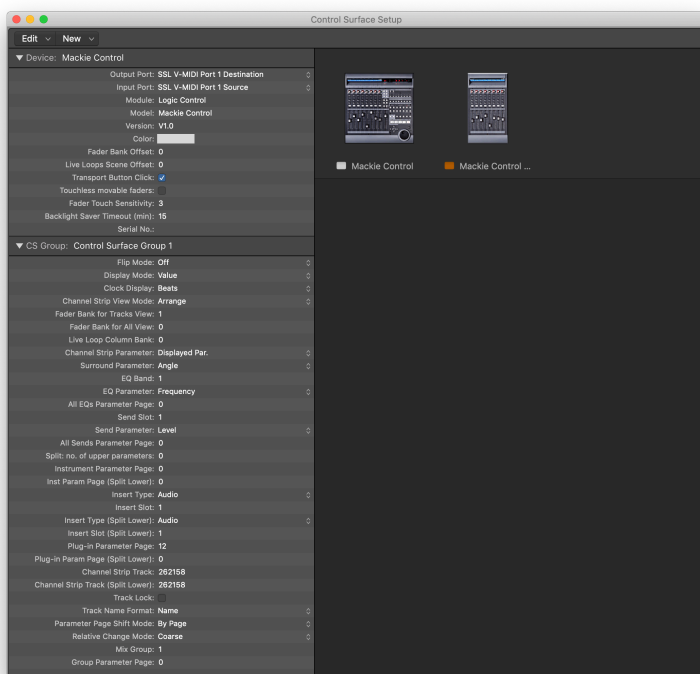
Logic 10.5 より前のバージョンでは、「Inputs」タブが利用できない場合があります。その場合は、すべての MIDI ポートがデフォルトでオンになっているので、この手順を省略することができます。

8. **Control Surfaces > Setup** に移動します。ウィンドウの左上にあるドロップダウンリストから、**New > Install...** をクリックします。リストから **Mackie Designs | Mackie Control | Logic Control** を選択し、「Add」ボタンをクリックします。ウィンドウに追加された Mackie Control の画像をクリックし、左側のデバイス設定オプションリストで、**Output Port** を **SSL V-MIDI Port 1 Destination** に、**Input Port** を **SSL V-MIDI Port 1 Source** に設定します。

それ以降の UF8 は、**Mackie Designs | Mackie Control Extender | Logic Control** といったエクステンダーユニットとしてセットアップし、その入出力ポートは UF8 ごとに少しずつ増やしていきます。例えば、2 番目の UF8 を **Mackie Control Extender** としてセットアップし、入出力ポートを **SSL V-MIDI Port 2** にアサインします。



STEP 7 : Logic で SSL V-MIDI ポートを有効にする。
Logic のバージョンが 10.5 より前の場合は、
このステップをスキップしてください。 .



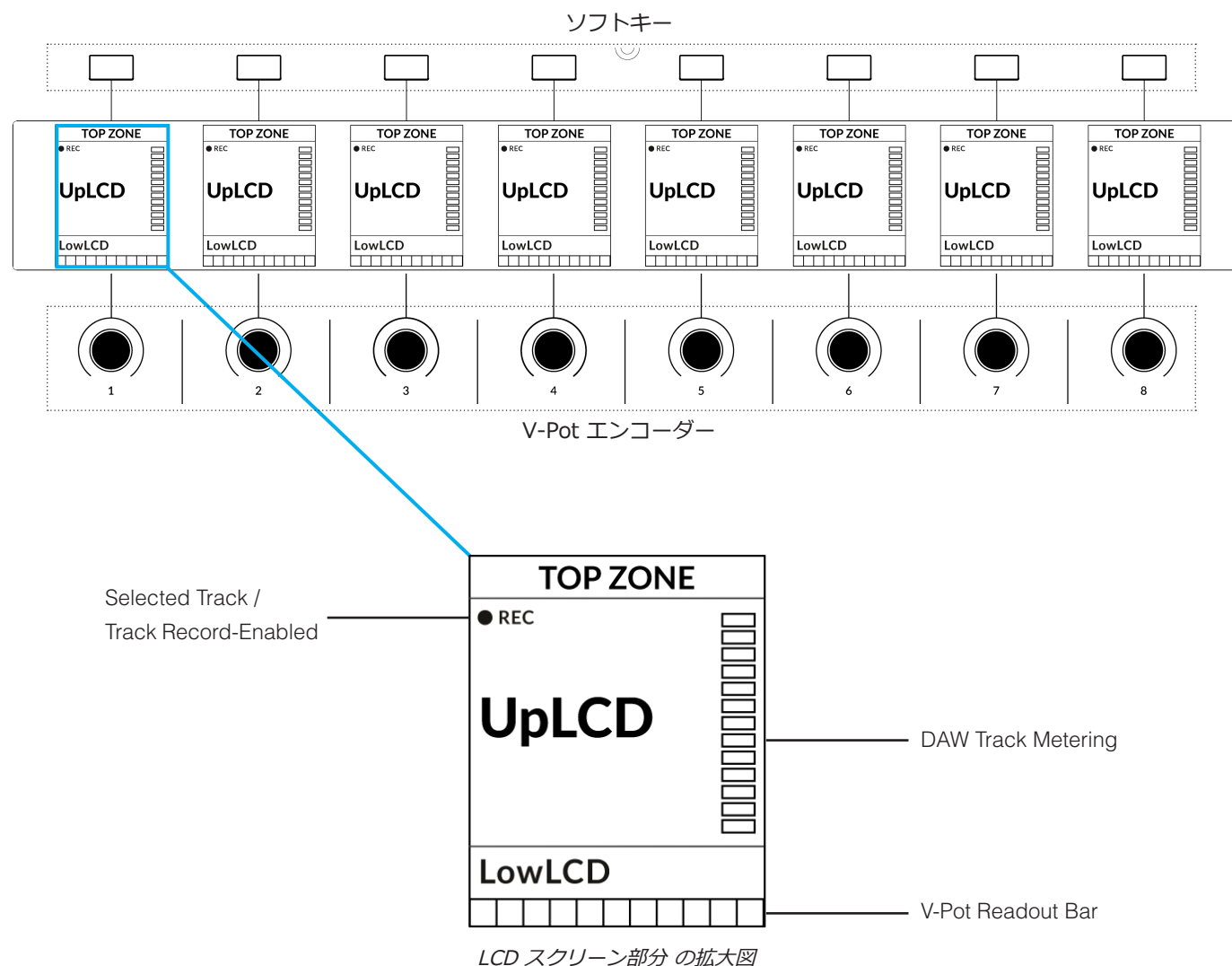
STEP 8 : 最初の UF8 を Mackie Control Unit、それ以降の UF8 を Mackie Control Extender として、Extender ごとに SSL V-MIDI Port 番号を 2 ~ 4 (LAYER1) と設定します。

左側にデバイスセットアップオプションリストが表示されていない場合、コンピュータのキーボードで「i」を押して表示させてください。

各 Mackie Control Extender (追加の UF8) のデバイスセットアップオプションリストの 'Fader Bank Offset' 設定が、2 台目の UF8 では '8'、3 台目では '16'、4 台目では '24' に設定されていることを確認してください。

デバイスセットアップオプションリストの「Channel Strip View Mode」が「Arrange」に設定されていることを確認し、UF8 が Logic アレンジメントのトラックの順序に従っていることを確認します。

LCD Layout (LCD レイアウト)



Top Zone - 直上のソフトキーに割り当てられた機能を表示します。

Selected Track / Track Record-Enabled (REC) - **REC** 表示は録音ではなく現在選択されているトラックを表示しています。
トラックが録音可能な場合、**REC** 表示は点滅します。

UpLCD - 6文字のトラック名が表示されます。

LowLCD - V-Pot に割り当てられているパラメーターのラベルまたは値を表示します。

DAW Track Metering - 12セグメントメーター + クリップ

V-Pot Readout Bar - 現在割り当てられているV-Pot (エンコーダー) 機能の位置を表示します。

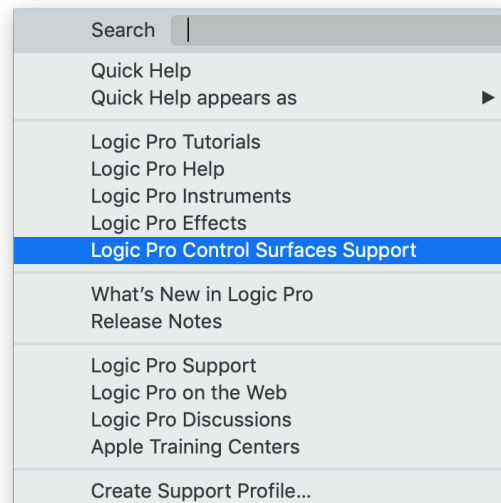
Tutorial (チュートリアル)

UF8 を Logic で使用する方法を説明します。

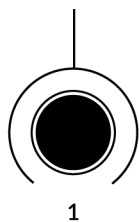
Before You Start... (始める前に...)

この Logic チュートリアルの情報は、Logic で UF8 を使用する際の主な機能を示しています。

UF8を使用してLogicでコントロールできるすべての機能と特徴について詳しく説明した文書については、Logic **Help Menu** > **Logic Pro Control Surface Support** を参照してください。ドキュメントを開き、「**Mackie Control**」のセクションに進みます。



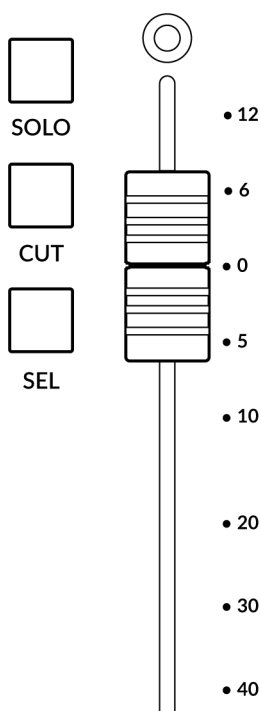
The Mackie Control section of the Logic Pro Control Surfaces Support contains a full Mackie Control Protocol guide.



V-Pot (V-ポット)

各ストリップの上部には、V-Pot (バーチャルポット) があります。

V-Pot の機能は、現在アクティブな V-Pot アサインモード (パン、センドなど) に応じて変化します。これらのモードについては、次ページ以降で説明します。



100 mm Motorised Fader (100mm モーター駆動フェーダー)

モーター駆動のタッチセンサー式フェーダーは、Logic のトラックを物理的にコントロールすることができ、ミックスレベルのバランス調整やボリュームオートメーションの実行に最適です。

Solo, Cut & Sel (Select) (ソロ、カット、セル (選択))

各ストリップには、ソロ、ミュート、セレクトに対応する **SOLO**、**CUT**、**SEL** キーが配置されています。

In Use (使用方法)

Logic Control Surface の環境設定「Flash Mute and Solo Buttons」がチェックされている場合、トラックをソロにすると、ソロになっていないすべてのトラックで UF8 の **CUT** キーが点滅します。

Logic MCP (Mackie Control Protocol) では、**SEL** キーを使って一度に選択できるトラックは 1 つだけです。

Selection Mode (選択モード)

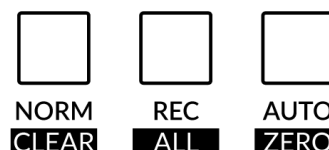
SELECTION MODE セクションの **NORM** キーと **REC** キーの主な目的は、次の通りです。

NORM - SEL キー は Logic の標準的なトラック選択機能として動作します。

REC - SEL キー は、トラックのレコード・アーム・ボタンになります。

AUTO - 無効です。このキーは Pro Tools プロファイルにのみ適用されます。

SELECTION MODE



Secondary Functions Of The Selection Mode Keys (選択モードキーの2次機能)

SELECTION MODE キーの下にラベルが追加されていることにお気づきでしょうか。これらの機能は、キーを押しながら他のキーを押す事で、Logic の便利な追加ワークフロー機能を提供します：

Clear Solos (ソロをクリアする)

CLEAR を長押ししながら、いずれかの **SOLO** キーを押します。

Clear Mutes/Cuts (ミュート/カットをクリアする)

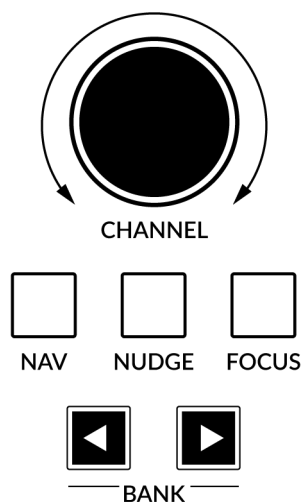
CLEAR を長押ししながら、いずれかの **CUT** キーを押す。

Zero Fader (ゼロフェーダー)

ZERO を押したまま、**SEL** キーを押します (**SEL** キーは現在選択されているキーでは動作しません)。

Channel Encoder (チャンネルエンコーダー)

デフォルトでは、**CHANNEL** エンコーダーは、DAW トラックを UF8 サーフেস上で 1 チャンネルずつ移動するために使用されます。**ナビ**、**フォーカス** の各モードに入ったときは、**CHANNEL** エンコーダーを押すだけで **チャンネル** モードに戻れます。



Nav (ナビ)

NAV キーを押すと、**CHANNEL** エンコーダーが Logic の再生位置を操作するように変わり、セッションの中をナビゲートできるようになります。

Nudge (ナッジ)

使用できません。

Focus (フォーカス)

FOCUS キーを押すと、**CHANNEL** エンコーダーがフォーカスモードになり、マウスのスクロール機能をエミュレートします。これは、マウスのスクロール操作に反応するプラグインやその他のものを画面上でコントロールするのにとても便利な方法です。プラグインを開き、マウスをコントロールの上に置いて、エンコーダーを回すだけで、ハンズオンコントロールが可能です。

FOCUS モードの感度は、操作するプラグインや画面上の要素によって異なります。コンピュータの環境設定にあるマウススクロールの感度設定を使って、好みに合わせて調整することができます。

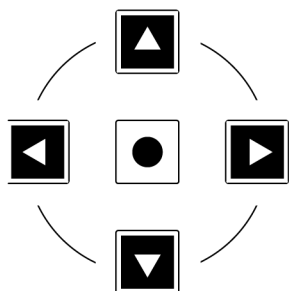
Bank Keys (バンクキー)

BANK < > キーは、UF8 コントロールサーフェス上のトラックを 8 の倍数で移動させることができます。

例えば、UF8 が 1 個の場合は 8 個、UF8 が 2 個の場合は 16 個 などです。

Cursor Keys and Mode Key (カーソルキー とモードキー)

UF8 の右下にはカーソルキーがあり、中央にはモードキーがあります。



Zoomキーが点灯しているときは、カーソルキーで水平方向と垂直方向のズーミングを行います。

Zoomキー をもう一度押すと、上下左右のカーソルキーでパラメータ機能や V-Pot アサインモード (センド、プラグインなど) のページを移動することができます。

このユーザーガイドの次のページでは、Logic の Mackie Control 実装の「Channel View」と「Mixer View」と連動したカーソルキーの使用について詳しく説明します。

Cursory Keys - Transport Mode (トランスポートモード)

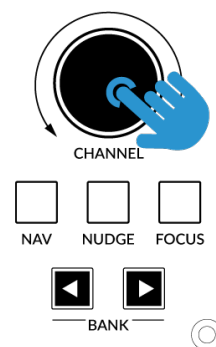
SSL 360° v1.3 以降では、カーソルキーをトランスポートモードに切り替えることができ、DAW の停止、再生、巻き戻し、前進を割り当てることができます。

How to enter/exit Transport Mode for the Cursor Keys

(カーソルキーのトランスポートモードへの入り方/戻り方)

CHANNEL エンコーダーを長押ししてトランスポートモードに入ります。

カーソルキーを通常の操作に戻すには、もう一度 **CHANNEL** エンコーダーを長押ししてください。



CHANNEL エンコーダーを
長押しして、
トランスポートモードに入る/戻る

Assignment of Transport Commands (トランスポートコマンドの割り当て)

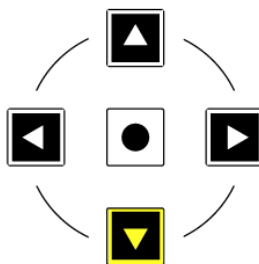
下矢印が **STOP**

上矢印が **PLAY**

左矢印が **REWIND**

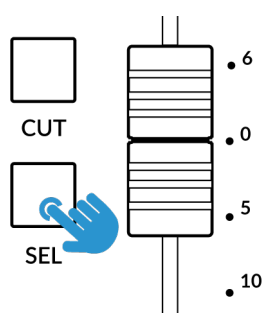
右矢印が **FORWARD**

サークルキーが **RECORD**



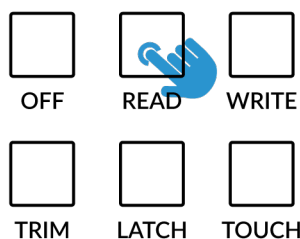
Automation (オートメーション)

UF8 から直接、各トラックのオートメーションモードを選択することができます。オートメーションの状態を変更したいトラックを、**SEL** キーで選択します。次に、UF8 左下の **AUTOMATION** キーからオートメーションモードを選びます。



STEP 1 : SEL キーでトラックを選択します。

AUTOMATION



STEP 2 : 希望のオートメーション状態を選択します。

ヒント : *OPTION* (*SOFT KEY* ユーザーバンク 3 では「Opt」に割り当てられています) を押しながら、*AUTOMATION* キーのいずれかを押しと、すべてのトラックを特定のオートメーションモードに割り当てることができます。

Quick Keys (クイックキー)

UF8 の左上にある 3 つの **QUICK** キー は、ユーザーが割り当て可能なキーで、最も頻繁に使用する DAW コマンドやキーボードショートカットにアクセスするために最適です。デフォルトでは以下のコマンドに割り当てられていますが、もちろん SSL 360° で変更することができます。

Default Quick Key Assignments: (デフォルトのクイックキー割り当て)

- 1 - Arrange ウィンドウ内の Mixer を表示/非表示にします。
- 2 - ミキサー内の Aux トラックのみを表示する「AUX」ビューモード (「グローバルビュー」モードの 1 つ) に切り替えます。
- 3 - Global View Mode On/Off - 'Global View' モードを ON/OFF します。

QUICK



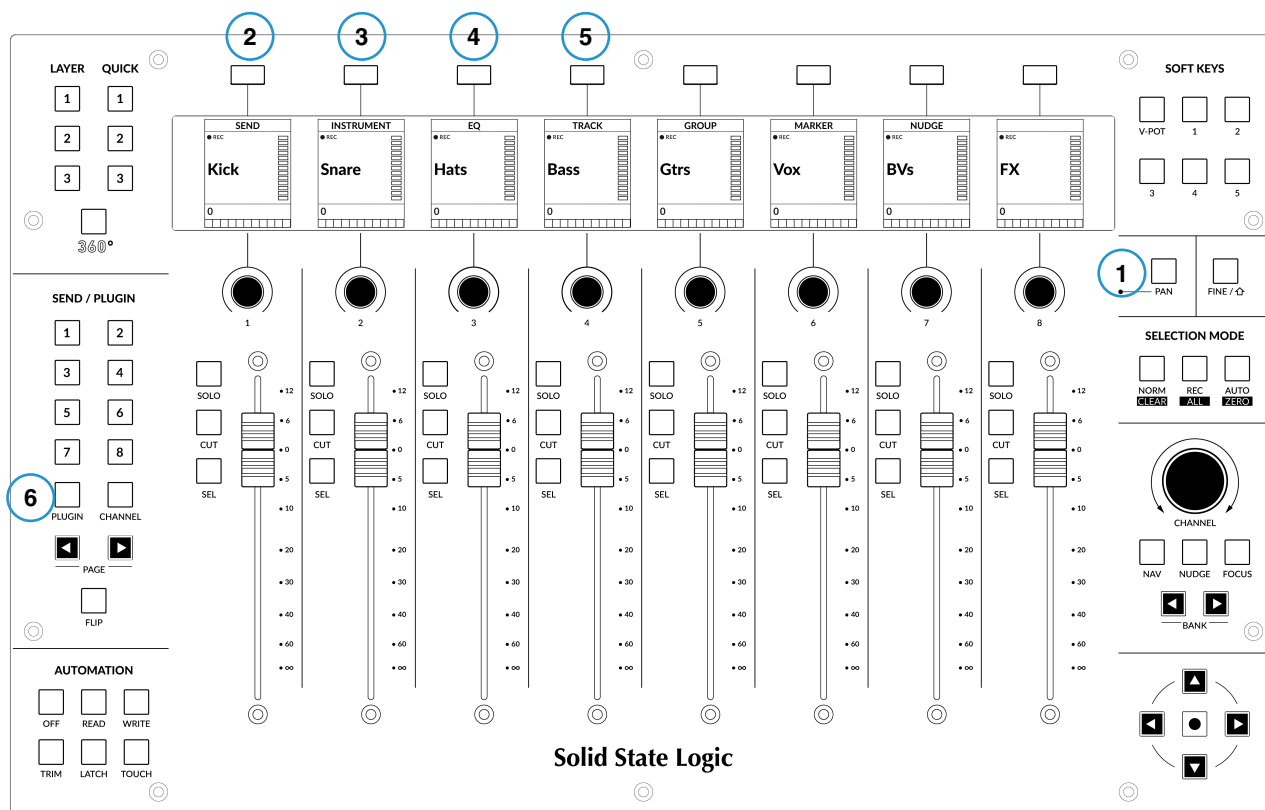
FINE /

Fine (ファイン)

センドレベルをコントロールする V-Pot を回しながら **FINE** キーを長押しすると、より細かなコントロールが可能です。このキーは **Cmd/Alt** 修飾子としても機能し、多くの Mackie Control コマンドの 2 次機能にアクセスすることができます。詳しくは、『Logic Pro Control Surfaces Support ユーザーガイド』の「Mackie Control」の項をご参照ください。

V-Pot Assignment Modes (V-Pot アサインメントモード)

UF8 では、6つの主要な Mackie Control V-Pot アサインモードに直接アクセスすることができます。これらの V-Pot アサインモードは、以下のキーでアクセスできます：1. **PAN**、2. **SEND**、3. **INSTRUMENT**、4. **EQ**、5. **TRACK**、6. **PLUGIN** (プラグイン) です。各 V-Pot アサインモードの詳細については、Mackie Control セクション Logic Pro コントロールサーフェスサポートドキュメントを参照してください。

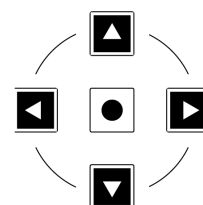


Channel View & Mixer View (チャンネルビュー&ミキサービュー)

各 V-Pot アサインモードは、「チャンネルビュー」または「ミキサービュー」の2種類の方法で操作することができます。現在アクティブな V-Pot アサインキーを押すことで、2つのビューモードが切り替わります。

SEND モードを例にとって説明します。最初に **SEND** キーを押すと、「ミキサー・ビュー」になります。このビューでは、V-Pot を使って全トラックの1つの Send パラメーター (Destination/Level/Pan/Mute) をコントロールすることができます。「ミキサー・ビュー」では、Left と Right のカーソルキーで次と前のパラメータを移動し、Up と Down のカーソルキーで Send Slot の選択を変更します。(例：Send 1、Send 2、Send 3 など) このとき Zoom キーがアクティブでないことを確認してください。

SEND キーをもう一度押すと「チャンネルビュー」に切り替わり、V-Pot を挟んで現在選択されているトラックの複数の Send パラメータ (Destination/Level/Pan/Mute) が表示されます。「チャンネルビュー」では、左右のカーソルキーでパラメータページを移動し、上下のカーソルキーで選択したトラックを変更します (中央の Zoom キーが点灯していない限り)。



カーソルキーは、チャンネルビューとミキサービューでの操作に不可欠なものです。

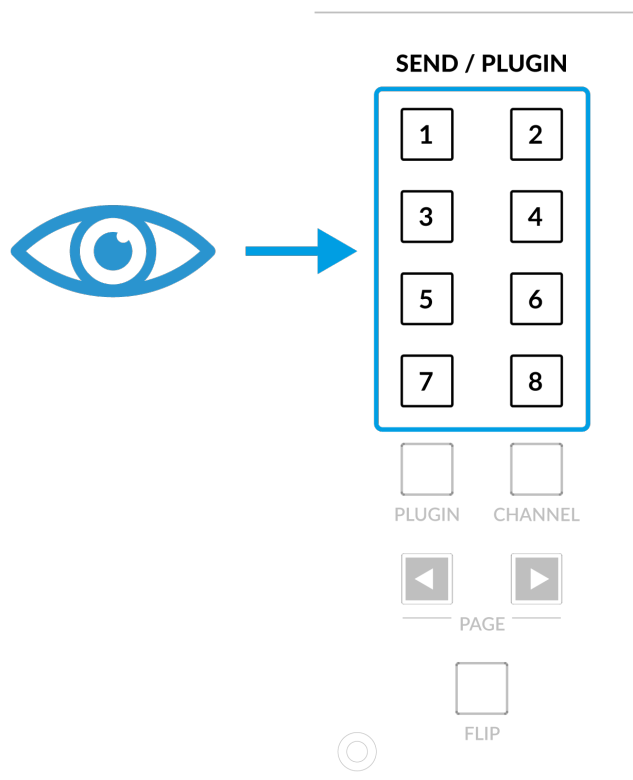
Pressing and holding a V-Pot Assignment Key (V-Pot 割り当てキーの長押し)

V-Pot 割り当てキーの多くには、プレス&ホールド機能があります。例えば、**SEND** キーを長押しすると、LCD にオプションのサブメニューが表示されます。この例では、V-Pot 2 の上に「Level」が表示されているので、**SEND** を押したまま V-Pot 2 を押すと、V-Pot がセンドレベルのコントロールにアサインされます。ミキサービューでカーソルキーを操作するのと同じ作業を、別の方法で行うことができます。

Send / Plugin and Channel Key - How To Tell If You're In Channel View or Mixer View

(SEND / PLUGIN とチャンネルキー - チャンネルビューかミキサービューかを見分ける方法)

SEND / PLUGIN セクションの番号キーと **CHANNEL** キーは、「チャンネルビュー」または「ミキサービュー」で操作しているかどうかを表示するために使用します。従来の Mackie コントローラーでは、この情報は 2 桁のアサイン、つまり「モードディスプレイ」に表示されていました。

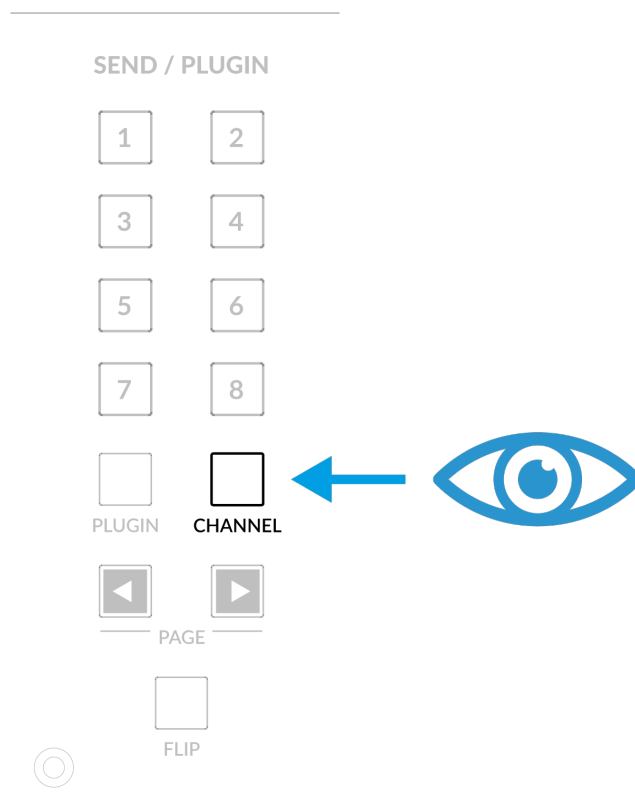


Mixer View (ミキサービュー)

「ミキサービュー」では、現在選択されているスロット番号 (例：センドスロット、プラグインスロット) が、対応する番号キーに点灯します。

Channel View (チャンネルビュー)

「チャンネルビュー」では、**CHANNEL** キーが点灯します。



Page Keys (ページキー (無効))

PAGE < > キー は、Logic UF8 プロファイルでは機能しないため、無効になっています。



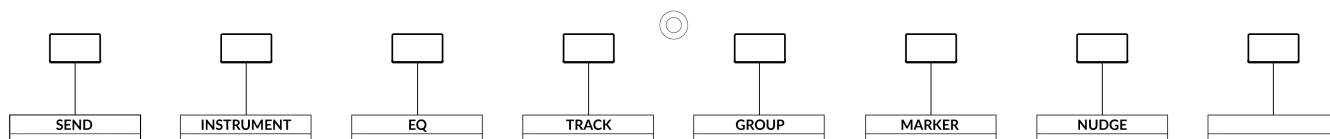
Flip (フリップ)

FLIP キーを押すと、Logic の 3 つのフリップモード (「Flip」, 「Swap」, 「Zero」) のいずれかが有効または無効になります。「フリップ」は、センドレベルやプラグインパラメーターなどの V-Pot パラメーターを、V-Pot ではなくフェーダーでコントロールできるようにする機能で、さまざまな場面で役立ちます。使用するフリップモードは、Mackie Control Surface Setup で設定します。



Group, Marker and Nudge (グループ、マーカ、ナッジ)

V-POT ソフトキーバンクのソフトキー 5、6、7 は、Mackie Control の「Group」、「Marker」、「Nudge」機能へのアクセスを可能にします。

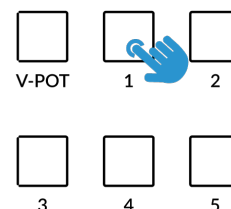


GROUP、MARKER、NUDGE、その他の Mackie Control コマンドの操作方法については、Logic Pro Control Surface Support の Mackie Control セクションをご参照ください。

User Bank Pre-Assignments (ユーザーバンクのプリ・アサインメント)

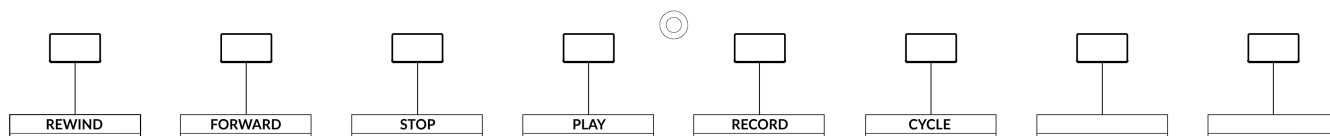
ユーザーバンク 1~5 では、UF8 の上部にある 8 つのソフトキーで、様々な DAW コマンドやキーボードショートカットにアクセスすることができます。もちろん、SSL 360° の UF8 ページで、利用可能な DAW コマンドや独自のキーボード・ショートカット・シーケンスに変更することができます。

SOFT KEYS

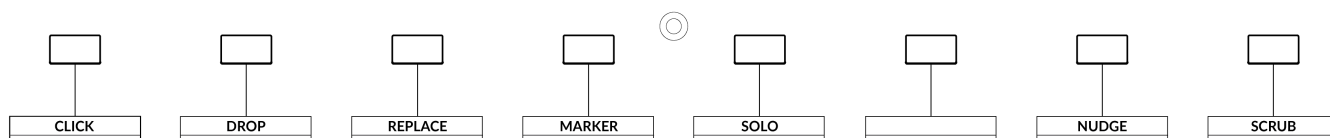


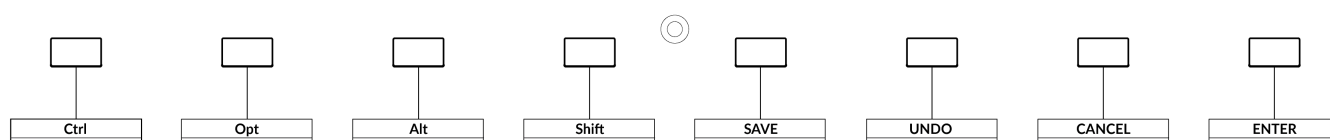
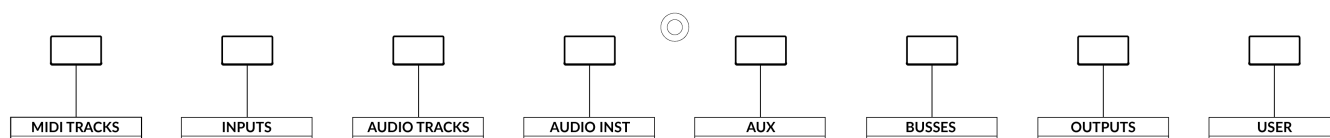
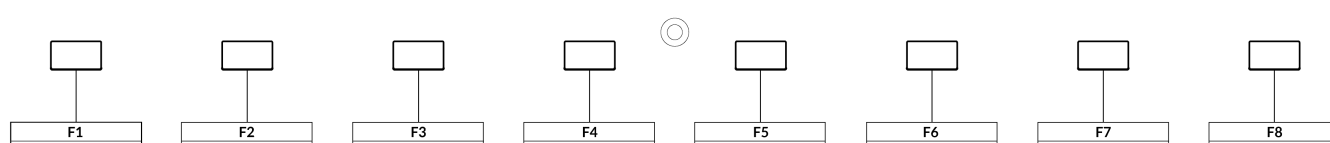
「ソフトキー」セクションのキー **1~5** を使用して、ユーザーバンクを選択します。

User Bank 1 (ユーザーバンク 1)



User Bank 2 (ユーザーバンク 2)



User Bank 3 (ユーザーバンク3)**User Bank 4** (ユーザーバンク4)**User Bank 5** (ユーザーバンク5)

"Oh, tell me now, where was my fault, in loving you with my whole heart?" - White Blank Page, Mumford & Sons.

Assignable DAW Commands List - Logic (アサイン可能な DAW コマンド一覧 - Logic)

SSL 360° では、以下の DAW コマンドを、ユーザー割り当て可能なキーに割り当てることが可能です。

Track	Solo
Pan/Surround	Forward
EQ	Rewind
Send	Stop
Plugin	Play
Instrument	Record
Flip	Scrub
Global	Play Foot-switch
Name/Value	Record Foot-switch
SMPTE/Beats	
F1	
F2	
F3	
F4	
F5	
F6	
F7	
F8	
MIDI Tracks	
Inputs	
Audio Tracks	
Audio Instruments	
Aux	
Busses	
Outputs	
User	
Shift	
Option	
Control	
Alt	
Read	
Write	
Touch	
Latch	
Trim	
Save	
Undo	
Group	
Cancel	
Enter	
Marker	
Nudge	
Cycle	
Drop	
Replace	
Click	

Notes

Handwriting practice area with horizontal dotted lines.

